

平成30年3月6日

報道機関 各位

「イタイイタイ病資料室」の開設について

このたび、富山大学杉谷キャンパス内に「イタイイタイ病資料室」を開設することになりましたのでお知らせいたします。

四大公害病の一つである、富山県の神通川流域で発生したイタイイタイ病は、全国で初めて公害病として認定されてから、今年で50年という節目を迎えました。これまで、イタイイタイ病に関する様々な資料を保存し、公開する場として「富山県立イタイイタイ病資料館」が平成24年度に設置されました。一方、本学ではイタイイタイ病患者さんが亡くなった際に、本疾患の病態解明や病変の確認などを行う目的で、医学部の二つの病理学講座が剖検（解剖により種々検索する手段）を行ってきました。昨年までに剖検数は計100例に達し、これらの貴重な患者さんの資料は全て保存してまいりました。

この医学的に貴重な資料を、今後散逸することなく、また、イタイイタイ病に関して後世まで語り継げるよう、さらに国内外でイタイイタイ病と同じような重金属障害を探求されている研究者に活用していただけるような施設の設置を目指し、このたび本学大学院医学薬学研究部病理診断学講座の井村穰二教授を中心として、富山県、環境省ならびに富山大学関係者の協力の下、医学部研究棟の一角に「イタイイタイ病資料室」を開設する運びとなりました。

このような特定の疾患に関する資料室は全国でも珍しく、これまで各方面からイタイイタイ病に関する医学的見地から、資料のアーカイブ化と公開が望まれてきました。また、リスクコミュニケーションの立場からも、広く一般社会に向けての啓蒙活動の場になるよう環境を整える必要があり、そのような目的を果たす役割として本施設を設けることとなりました。

世界的にも未だイタイイタイ病と同様な公害病に苦しんでいる地域があることが伝わってきています。将来は、イタイイタイ病の教訓を活かし、富山大学から世界に向けて、人体における重金属障害の病態を解明するために本施設が研究活動拠点となることを願っています。

なお、開設にあつたてのセレモニーと報道機関への発表を下記のとおり行いますので、取材・報道方よろしくお願いたします。

記

○イタイイタイ病資料室開設セレモニー並びに報道発表

日時：平成30年3月15日（木）午前10時より

集合場所：富山大学杉谷キャンパス附属病院2階

カンファレンスルーム2

※ 9時50分までにお集まりください。

以上

【本件に関する問い合わせ先】

富山大学大学院医学薬学研究部（医学）病理診断学講座

教授 井村 穰二

TEL: 076-434-7236, E-mail: imura@med.u-toyama.ac.jp